

貯 法：室温保存
有効期間：4年

日本標準商品分類番号

87273

承認番号 14100AZZ04996000

販売開始 1966年10月

根管消毒・鎮痛鎮静剤
歯科用グアヤコール・パラクロロフェノール製剤

劇薬 **メトコール**[®]
METHOCOL[®]

3. 組成・性状

3.1 組成

販売名	メトコール	
有効成分	100g中	
	グアヤコール	70g
	パラクロロフェノール	30g

3.2 製剤の性状

販売名	メトコール	
性状	無色～淡紅色澄明の液で、芳香性においがある	

4. 効能又は効果

齶窩及び根管の消毒、歯髄炎の鎮痛鎮静、根端性歯周組織炎の鎮痛鎮静

6. 用法及び用量

齶窩・根管の拡大・清掃を十分に行い、本剤の適量を患部に貼付し、仮封する。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ使用すること。

9.6 授乳婦

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	頻度不明
過敏症	過敏症状

14. 適用上の注意

14.1 薬剤投与時の注意

- 腐食力があるので注意して使用すること。
 - 軟組織に対し局所作用をあらわすので、口腔粘膜等に付着させないよう配慮すること。したがって、使用に際してはラバーダム防湿等を行うこと。
 - 軟組織に付着した場合には、直ちに清拭し、消毒用エタノール、グリセリン、植物油等で清拭するか、又は多量の水で洗うなど適切な処置を行うこと。
- また、手指等に付着した場合には、石けん等を用いて水又は温湯で洗浄すること。
万一眼に入った場合には、直ちに多量の水で洗浄する等の適切な処置を行うこと。

15. その他の注意

15.2 非臨床試験に基づく情報

急性毒性（本剤）¹⁾

ラット（Wistar系♂）経口 LD₅₀ = 1.55mL/kg

17. 臨床成績

17.1 有効性及び安全性に関する試験

17.1.1 国内臨床試験

処置別における臨床成績は次のとおりである²⁾³⁾⁴⁾。

適用	症例数	成績		
		良好	概良	不良
露出損傷歯髄	30	30	0	0
抜髄根管	121	114	7	0
感染根管	151	137	14	0

18. 薬効薬理

18.1 作用機序

グアヤコールの有する鎮静、消毒効果、特に緩和な歯髄及び根端周囲組織に対する作用と、パラクロロフェノールの有する強い殺菌、消毒力を利用し、フェノール系薬剤の有する欠点であるホルマリン系薬剤より劣る殺菌、消毒効果を是正している⁴⁾。

18.2 消毒作用

本剤（パラクロロフェノール・グアヤコール）の細菌発育阻止作用は、次表のとおりである⁵⁾。

試験方法	薬剤 菌種	ホルマリン	クロロフェノール	グアヤコール	パラクロロフェノール
		トリクレゾール	カンファール	ル・グアヤコール	パラクロロフェノール
ろ紙法	<i>Str. Ki</i>	+++	+++	+++	+++
	<i>Sta. H</i>	+++	+++	+++	+++
	<i>Sta. 209p</i>	+++	+++	+++	+++
三木式 カップ法	<i>Str. Ki</i>	+++	-	-	+++
	<i>Sta. H</i>	+++	-	-	++
	<i>Sta. 209p</i>	+++	-	-	+

注 +++: 30mm以上の発育阻止円

++: 15mm以上の発育阻止円

+: 11mm以上の発育阻止円

-: 発育阻止円ほとんどなし

18.3 鎮痛作用

本剤には腐食性の局所麻痺作用がある。カエルの座骨神経に対する本剤とグアヤコールの比較実験によると、本剤による麻痺の発現はグアヤコールに比べて迅速である⁶⁾。

19. 有効成分に関する理化学的知見

19.1 グアヤコール

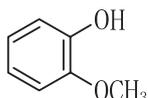
一般名：グアヤコール (Guaiacol)

化学名：2-Methoxyphenol

分子式：C₇H₈O₂

分子量：124.14

構造式：



性状：本品は無色～淡紅色澄明の油状の液又は無色の結晶で、特異な芳香があり、液は強く光線を屈折する。本品はジメチルホルムアミド、エタノール (95) 又はジエチルエーテルと混和する。本品は水にやや溶けにくい。

19.2 パラクロロフェノール

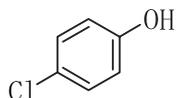
一般名：パラクロロフェノール (*p*-Chlorophenol)

化学名：4-Chlorophenol

分子式：C₆H₅ClO

分子量：128.56

構造式：



性状：本品は無色～微赤色の固体で、特異なおいがある。

20. 取扱い上の注意

引火性があるので、火気に注意して使用・保存すること。

22. 包装

10mL (合成樹脂容器)

23. 主要文献

- 社内資料：前橋 浩：メトコールのラットを用いた急性経口毒性試験。1976
- 木下正道：パラモノクロロフェノールを主剤とする合剤が露出損傷歯髄及び抜髄創に及ぼす影響に関する臨床病理学的研究。歯科学報。1968；68(3)：82-140
- 木下正道，中村靖夫，山岸昭平，石 光範，田上隆弘，大塚弘介，吉井英祐，浅井康宏，関根永滋：新根管治療剤パラクロロフェノール・グアヤコールの臨床応用成績。歯科学報。1969；69(10)：78-83
- 浅井康宏，山岸昭平：歯内療法薬剤，特に根管治療剤について。歯界広報。1974；34(1)：11-16
- T.Homma, M.Tanaka, A.Yamamoto, Y.Hashimoto, K.Okuda, K.Yunoki, T.Moriyama, T.Nakamura and W.Yonezawa：Studies on the Microorganisms in the Root Canal -Preliminary Report-, Bull. Tokyo Dent.Coll.. 1969；10(1)：1-11
- 社内資料：栄研環境科学研究所：メトコール神経麻痺試験。1975

24. 文献請求先及び問い合わせ先

請求先：ネオ製薬工業株式会社 学術情報部
住所：〒150-0012 東京都渋谷区広尾 3-1-3
ホームページ：<https://www.neo-dental.com/>
フリーダイヤル：☎ 0120-07-3768

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元



ネオ製薬工業株式会社

〒150-0012 東京都渋谷区広尾3丁目1番3号
Tel.(03)3400-3768(代) Fax.(03)3499-0613